

町の考え方を問う

一般質問

3月定例会では観光問題・福祉問題など、町政全般へ7人14項目にわたり質問しました。

A 在の町の組織は、第4次総合計画後期基本計画を簡素で効率的に推進する

1点目について、現在の町の組織は、第4次総合計画後期基本計画を簡素で効率的に推進する

勢の変化や国などの法律改正

行へべきことは、財政健全化

Q 現在の町の組織は、機能的に対応しているのか、弾力的に動いているのか、また、どのような構想を描いているのか具体的に伺います

1 現在の町の組織は、機能的に対応しているのか、弾力的に動いているのか、また、どのような構想を描いているのか具体的に伺います

2 一段と厳しい財政運営を余儀なくされている箱根町の経営の中で、中・長期的視野にたった財政の見直しはどのようなものか

1 現在の町の組織は、機能的に対応しているのか、弾力的に動いているのか、また、どのような構想を描いているのか具体的に伺います

企画

箱根町の組織の見直しと
財政の見直しについて

一部公開された箱根関所

一般質問ではこのほか次の事項も質問しました。
(順不同)

- 暴走族・ローリング族への取組は
- 16年度の箱根町観光戦略に関する基本的な考え方はどのようなものですか
- 日本国内外を問わず、今後箱根に来町した観光客に対する町内でのサービスとは
- 政策法務と箱根町について
- 町営温泉入浴施設のない地域の温泉と地域町民とのかかわりについての「調査」の実施を
- 町民や来訪者が公共交通機関を町内移動の「足」として利用し、環境負荷を低減することを促す町の施策について
- 有事関連7法案に反対を

に伴う事務事業への対応など、新たな要素も生じているので、平成19年度からスタートする第5次総合計画の推進体制として、組織の見直しを行っていきたいと考えている。

2点目については、財政の見直しなどについては、その根幹となる地方の自主財源、税収見込みなどを推計することが現段階では大変不透明な状況であり、中・長期的な財政見直しを立てづらい状況であるが、財政健全化に向けた取り組み事項も考慮しながら、現在策定中である財政再建プランの中で、財政推計も行いたい。いずれにしても、町が今、行へべきことは、財政健全化

ため、町民に分かりやすい組織機構として、また、特に地方分権時代を迎え、本当の意味での町力、真価が問われる時代となり、自らの責任と工夫により、個性的なまちづくりを進めるため、企画立案型組織の構築を目的に組織機構改革を行ったものである。

このようなことから、現在の組織は十分に機能しているものと認識しており、また、時代のニーズにも的確に対応しているものと確信している。しかし、急激な社会経済情

行政改革を確実に推進し、実行に移し職員定数の適正化をはじめ、合理性に欠ける事務体制については、積極的に改善し、また、事業の見直しに際しては、身の丈にあったものに見直す必要もあると思

将来に向けて町財政の健全性を維持しながら、時代の変化や新たな課題にも迅速かつ柔軟に対応することができ、効率的、合理的な行財政システムを確立したいと考えてい